

適正利用・エコツーリズム検討会議の推進体制

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議 (H22.4~)

共有と合意形成の場

専門家、行政機関、地元関係団体等が一体となって、世界遺産地域の適正利用やエコツーリズムを推進していくため、知床国立公園利用適正化検討会議を発展させて設置。

<全体テーマ>

- ・エコツーリズム戦略の策定

<個別テーマ>

- ・羅臼湖の利用のあり方
- ・海域レクリエーション利用のあり方
- ・知床連山縦走路の利用のあり方
- ・先端部地区の利用調整

知床五湖の利用のあり方協議会

カムイワッカ湯の沢利用対策連絡協議会

カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会

科学的な視点から助言

適正利用・エコツーリズムワーキンググループ(H22.4~)

座長: 敷田麻実氏
(北海道大学教授)
委員数: 7名

適正利用・エコツーリズム部会

所属団体:
民間団体…17団体
行政機関…20機関

地域との連携・協働のための会議

知床世界自然遺産地域科学委員会

科学的な知見に基づく順応的な保全管理を実施するために設置。行政が行う事業や施策等について、科学的な視点から助言をします。

特定の課題に対応するため、4つのワーキンググループなどを設置しています。

座長: 大泰司紀之氏(北海道大学名誉教授)
委員数: 12名

海域ワーキンググループ

エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ

河川工作物アドバイザー会議

ヒグマ保護管理方針検討会

知床世界自然遺産地域連絡会議

日常的に遺産地域の保全や利用に関わっている地元自治体、地元関係団体及び地域住民による現場の視点を活かし、連携・協働による遺産地域の管理を行うために設置しています。

所属団体:

環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、斜里町第一漁協、ウトロ漁協、羅臼漁協、網走漁協、羅臼町・知床世界自然遺産協議会、ウトロ地域協議会、知床ガイド協議会、(財)知床財団、知床エコツーリズム推進協議会

シンボルマーク管理運営部会

世界自然遺産地域管理者

環境省
釧路自然環境事務所

林野庁
北海道森林管理局

北海道